

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越生高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。生徒・保護者・地域の期待やニーズを詳細に把握し、普通科と美術科が互いに響き合いながら生徒を育む学校の特色や強みを生かした、目指す方向を更に具体的かつ明瞭に示すものとなるように工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。学校の取り組むべき課題が重点化されて明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられている。今年度、生徒募集部を新設して「戦略的な生徒募集活動」の実施に向けて全教職員が関わる組織的、計画的な広報活動を展開するなど、重点目標達成のための組織体制が適切に機能している。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	教員の授業力向上を評価項目に掲げ、授業公開週間を設定して研究協議を実施するなど、学校全体の目標に基づいて分掌・学年等が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。方策の達成状況が確認しにくい評価指標があるので、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	企画委員会、職員会議や職員研修会等において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、結果等を丁寧に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			